

**確認打合せ書 記載例** 埋設ケーブル類確認打合せ書

STEP1 施工側の発議 (回答期限については調査に時間を要する場合)		施工着手予定日以前の日を記入して下さい	
施工側(発議月日等)	工 事 件 名	〇〇駅・〇〇駅間〇〇k〇〇m付近 〇〇工事	
整理番号 第 号 〇〇〇〇年 〇月 〇日	施工時期・施工日	〇〇〇〇年〇月〇日~〇〇〇〇年〇月〇日	回答期限: 〇月 〇日
施工側 職名 〇〇 〇〇 印	施 工 位 置	〇〇 駅構内 〇〇 駅間 〇〇K 〇〇m~ 〇〇K 〇〇m付近 左(右)	
設備側宛先 職名 〇〇 〇〇 宛	施 工 目 的	〇〇駅・〇〇駅間〇〇k〇〇m付近の線路に近接して、〇〇工事を施工する。	
	施 工 内 容 及 び 方 法	1. 施工内容 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 2. 重機使用 無し (有り) ;機種 バックホウ0.1~0.2m <sup>3</sup> 3. 保安措置 4. 別添資料 無し (有り)	

STEP2 設備側による支障物の回答(現地立会日については施工側と事前に打合せること)		押印してください	
設 備 側 施工着手日(回答期限前)の 1か月前までに申請して下さい	支障物の有・無	〇	
年 月 日	現地立会(立会1)要否	①不要 ②必要 申請時に提出した図面等で施工位置・施工内容等の 詳細が確認できる資料を提出してください。	
職名 〇〇 〇〇 印	現地立会(立会3)要否	①不要: 工事等 ③立会1後(立会の記録は様式 27の判断によるSTEP3へ)	
	他社関係の有無	①無し ②有り; 関係他者名( )別途発議する	
	その他注意事項		

STEP3 設備側による確認依頼(移転防護完了後の現地確認・現地立会後の施工時立会の判断)		月 日 時 分	
設備側(依頼月日等)	現地立会(立会2)日時		
年 月 日	STEP2~STEP4は 記入不要です		
職名 〇〇 〇〇 印			
設備側 職名 〇〇 〇〇 印	施工時立会(立会3)の要否	(立会2)の結果 ①不要: 工事施工へ ②必要STEP4へ	

STEP4 施工時立会の要請			
施工側(要請月日等)	施工時立会(立会3)の日時	(立会2)の結果、(立会3)の日時は事前の打合せにより 下記とする 日時; 月 日現地 時 分	
年 月 日			
職名 〇〇 〇〇 印			

備考) 1. 施工側から設備側へ照会し、設備側は施工側と打合せのうえ現地の状況等を調査して回答する。  
2. 現地立会が必要な場合は立会日時を双方打合せの上決定する。  
3. 施工時立会が必要な場合は、施工側から後日本票により必要な日時等を設備側に要請する。  
\*\*\*\*\* 関係者及び連絡先 \*\*\*\*\*

	箇所名・会社名	職 名	氏 名	定常連絡先	緊急連絡先
設 備 側	担当者	記入不要です			
	請負者				
施 工 側	担当者	〇〇株式会社	代表取締役	〇〇 〇〇	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
	請負者	〇〇建設株式会社	現場代理人	〇〇 〇〇	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

(様式-2)

埋設ケーブル類現地立会確認記録簿

現地立会日時		月 日 時 分～ 時 分	
整理番号・件名		〇〇本線〇〇駅・〇〇駅間〇〇k〇〇〇m付近 〇〇工事	
立 者 会	設備側	担当者	所属; 職名; 氏名; Fax; )
		請負者	所属; 氏名; (電話; Fax; )
	施工側	担当者	所属; 〇〇株式会社 職名; 代表取締役 氏名; 〇〇 〇〇 (電話; 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 Fax; 〇〇〇-〇〇〇〇 )
		請負者	所属; 〇〇建設株式会社 職名; 現場代理人 氏名; 〇〇 〇〇 (電話; 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 Fax; 〇〇〇-〇〇〇〇 )
設備移設の要否		不要 必要 ; どちら側で、何を、どうする?	
設備防護の要否		不要 必要 ; どちら側で、どういう方法で?	
設備表示の要否		不要 必要 ; どちら側で、どういう方法で? 杭建植 ロープ表示	
機械使用制限の有無		無し 有り ; 制限内容?	
施工時立会の要否		不要 必要 ; いつ・だれが?	
その他確認事項等 略 図 等			
別紙の有無; 無し 有り			

備考)立会者は内容を確認してサインを行い、とりまとめ者は関係者に送付する。  
 ※ ケーブル支障範囲にケーブルが残存する場合は、どこに残るかを具体的に図示し施工側に渡すこと。